

## 2026年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330332074	こども文学 Juvenile Literature	入口 愛			2	選択	3後期
<b>科目の概要</b>							
<p>本学の教育目標と教育方針の下、こどもの生活学科の教育目標は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭の資格取得のための学修をとおし、子どもたちの学力および社会性の基礎・基本を育てることによって、子育てを支援できる人材を育成することにある(DP1)。そこで、本科目では、子どもを理解するために、文学に描かれた子ども像を読み解く。そのうえで、目の前にいる子どもと真摯に向き合える保育者・教育者を指す。児童文学の歴史を学んだ後、代表的な児童文学作品を読み、いかに子どもが描かれているかを考察する。最終的には、講義で得た知識を基にして、文学に描かれた子どもを手掛かりに、リアルな子どもも理解へとつなげる。ここにおいて、社会的に自立して生きていく上で必要な建学の精神・社会人基礎力・pisa型学力・直観力・自然体を統合的に身に付ける(DP5)。また、教育現場での専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができるに直結する科目である(DP3)。</p>							
<b>学修内容</b>				<b>到達目標</b>			
<p>① 児童文学の歴史など、児童文学を理解するための基礎的知識を身に付ける。 ② 児童文学作品を分析・評価しながら読む。 ③ 文学に描かれた子どもの姿を手掛かりに、目の前にいる子どもの内面を理解する。</p>				<p>① 児童文学の歴史など、児童文学を理解するための基礎的知識を獲得している。 ② 獲得した児童文学についての知識を、読むために分析・評価することで活用できる。 ③ 文学に描かれた子どもの姿を手掛かりに、目の前にいる子どもの内面の理解につなげ、支援に役立てる。</p>			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>					
前に踏み出す力	主体性	文学作品に描かれた子どもを積極的に読み取ることができる。					
	働きかけ力						
	実行力	課題を自分なりに考え、取り組むことができる。					
考え抜く力	課題発見力	講義の内容や作品の読解をとおし、子どもが抱える問題や課題について見出すことができる。					
	計画力						
	創造力	さまざまな方向から柔軟に文学作品を読み、解釈することができる。					
チームで働く力	発信力	調べたり、考えたり、話し合ったりしたことを的確な表現で相手に伝えることができる。					
	傾聴力	講義の内容や他者の作品解釈をよく聴き、それを基にして、自分なりの解釈を持つことができる。					
	柔軟性						
	情況把握力						
	規律性	無断欠席や遅刻をすることなく、期限を守って課題を提出できる。周囲に配慮した行動ができる。					
	ストレスコントロール力						
<b>テキスト及び参考文献</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・テキストとして使用する資料等は授業で配付します</li> <li>・【参考文献】藤木直美編著『子どもの本でジェンダーレッスン』かもがわ出版 2025年</li> <li>・映像視聴（オープンエデュケーション）大阪国際児童文学振興財団 公式チャンネル IICLO「本の海大冒険」絵本編</li> </ul>							
<b>他科目との関連、資格との関連</b>							
<p>「こども文学」は専門科目、幼・保領域の保育の内容・方法に関する科目の一部である。「保育内容（表現B）」「保育内容（環境）」で獲得した知識・技能を活用する。また、「こども文学」は、その後に履修する「こども表現（図画工作）」の基盤となる科目である。保育士資格・幼稚園教諭免許との関連がある。</p>							
<b>学修上の助言</b>				<b>受講生とのルール</b>			
<p>学内図書館や公共図書館で、絵本や児童文学に多く触れるようにするとよい。 授業で取り上げる絵本や児童文学にできるだけ目をとっておく。</p>				<p>遅刻3回で欠席1回とする。講義中に指示のない限りスマホやイヤホンの使用は認めない。グループワークに積極的に参加する。</p>			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
			③		
	小テスト	0	①		
			②		
			③		
	レポート	70	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓		
		②	✓		
		③	✓		
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	
			②	✓	
			③	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>S (秀) 学修内容のすべてにおいて十分な理解と主体的に課題を発見、解決へと取り組む姿が見られ、レポート、実践、社会人基礎力の総合評価において、非常に優れた評価を得ることを基準とする。</p> <p>A (優) 学修内容のすべてにおいて十分な理解ができており、レポート、実践、社会人基礎力の総合評価において、優れた評価を得ることを基準とする。</p>	<p>B (良) 学修内容が理解できており、レポート、実践、社会人基礎力の総合評価が一定の基準(6割)以上を満たしていることを基準とする。</p> <p>c (可) 学修内容がおおむね理解できており、レポート、実践、社会人基礎力の総合評価が一定の基準(6割)以上を満たしていることを基準とする。</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価方法等を知る) 自分の読書経験をふり返り、児童文学のジャンルを知る	講義 グループワーク google classroomを用いて授業をふり返る	児童文学のジャンルをおおむね理解できている。	(予習) 学泉ノートを読んで、学修に向かう心構えを確認する。 (復習) 自分の読書経験だけでなく、グループメンバーの読書経験をもAIを用いてまとめる。	100	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
2	「子ども」の誕生、児童文学の誕生(「子ども」観の変遷、日本における児童文学の成り立ちを知る)	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	「子ども」観の変遷や日本における児童文学の成り立ちについておおむね理解できている。	(予習) 日本の児童文学について、AIを用いて調べる。 (復習) 授業で得た知識をAIを用いてまとめる。	100	主体性 課題発見力 傾聴力 規律性
3	子どもの本をジェンダーで読み解く「装いの力」	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
4	子どもの本をジェンダーで読み解く「プリンセスたちの挑戦」 絵本の読み聞かせの方法を知り、自分なりに工夫する。	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
5	子どもの本をジェンダーで読み解く「知恵のある魔女」 絵本の読み聞かせを実践する。	講義 発表 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
6	子どもの本をジェンダーで読み解く「家族のかたち」	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
7	子どもの本をジェンダーで読み解く「男らしさってなんだろう」	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
8	子どもの本をジェンダーで読み解く「戦争とジェンダー」	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	子どもの本をジェンダーで読み解く「女の子のいる場所」	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
10	子どもの本をジェンダーで読み解く「わたしの性を生きる」	講義 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	取り上げた作品のテーマについて、おおむね理解できている。	(予習) 指定の文学作品について目をとおす。 (復習) 授業で取り上げた作品について、関連する絵本やことごとについてAIを用いて調べる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性
11	文学作品における子ども(いかに子どもが描かれているか、作品のテーマを読み解く)	グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	作品のテーマを読み解くことができる。	(予習) 取り上げる文学作品を選び、目をとおす。 (復習) 自分の読みをまとめる。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
12	文学作品における子ども(作品の背景を読む)	グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	作品の背景について把握している。	(予習) 取り上げる作品を読み込む。 (復習) 作品の時代背景について、さらに深掘りする。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
13	文学作品における子ども(発表内容を整理する)	グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	発表する内容を絞り込むことができる。	(予習) 作品のポイントを自分なりにまとめておく。 (復習) レジュメのレイアウトを考える。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
14	文学作品における子ども(発表のレジュメ作成)	グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	発表する内容を分かりやすく相手に伝えられる方法を考えることができる。	(予習) 発表する内容を整理する (復習) 発表する内容を確認する	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 規律性
15	文学作品における子ども(自分が取り上げた作品について、発表する)	発表 グループワーク ふり返りのフィードバック google classroomを用いて授業をふり返る	自分なりの読み解いた作品の内容を発表することができる。	(予習) 発表の流れを確認する。 (復習) グループメンバーが発表した内容について、AIを用いてまとめる。	180	主体性 実行力 発信力 傾聴力 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力